

(H28年6月)



上田城跡公園



## 《 社員研修旅行 》

年に一度の研修旅行に行つて来ました。

初日は、小布施と善光寺の観光でした。

長野県の北東に位置する小布施町は葛飾北斎をはじめ、歴史的遺産の人気の観光地でした。

次に訪れた信州善光寺は、一光三尊阿弥陀如来様を御本尊として、創建以来約千四百年の長きに亘り、阿弥陀如来様との結縁の場として、民衆の心の拠り所として深く広い信仰を得ているとのことでした。

二日目は上田城跡公園、富岡製紙工場の見学でした。

真田丸の大河ドラマでも有名な上田城は、徳川勢を2度も撃退した城として知られ、真田昌幸の築城能力の高さが伺えます。

また、巨大な堀は城への入口を狭くし攻撃を防御することが出来る城となっていたそうです。

次に訪れた富岡製糸場は、明治5年(1872年)に明治政府が日本の近代化のため設立した模範器械製糸場です。この模範工場は洋式の製糸技術を導入することと外国人を指導者とする、全国から工女を募集し、伝習を終えた工女は出身地へ戻り、器械製糸の指導者とするのが目的だったとのことでした。

三日目は、日光東照宮の観光でした。

日光東照宮は、元和(げんな)3年(1617)徳川初代将軍徳川家康公を御祭神におまつりした神社です。家康公は、75歳の生涯を終えられ、直ちに久能山に神葬されました。そして御遺言により、一年後の元和3年4月15日、久能山より現在の地に移されおまつりしたとのことでした。

最後に、三日間の研修旅行旅行で有意義な時間を過ごすことができ、参加者全員、何事も無く無事に帰宅する事ができました。